

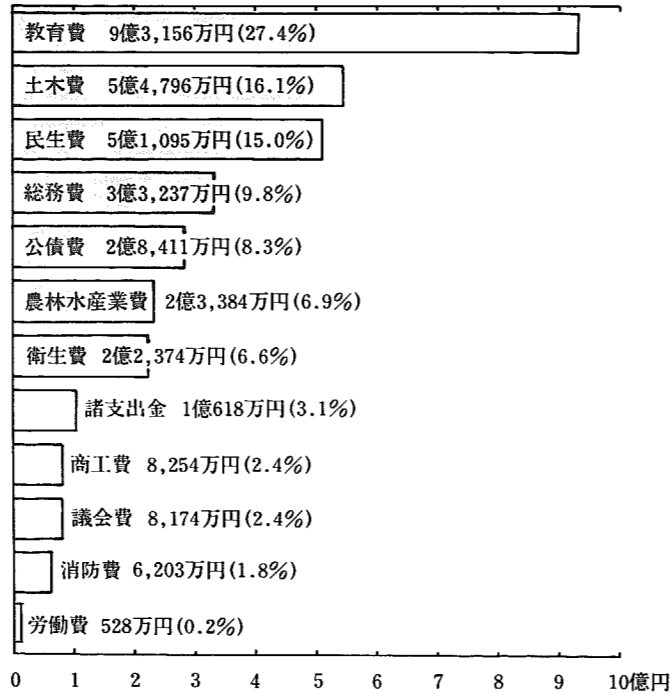
平成5年度から始まった総合体育館建設

お知らせします 村の台所

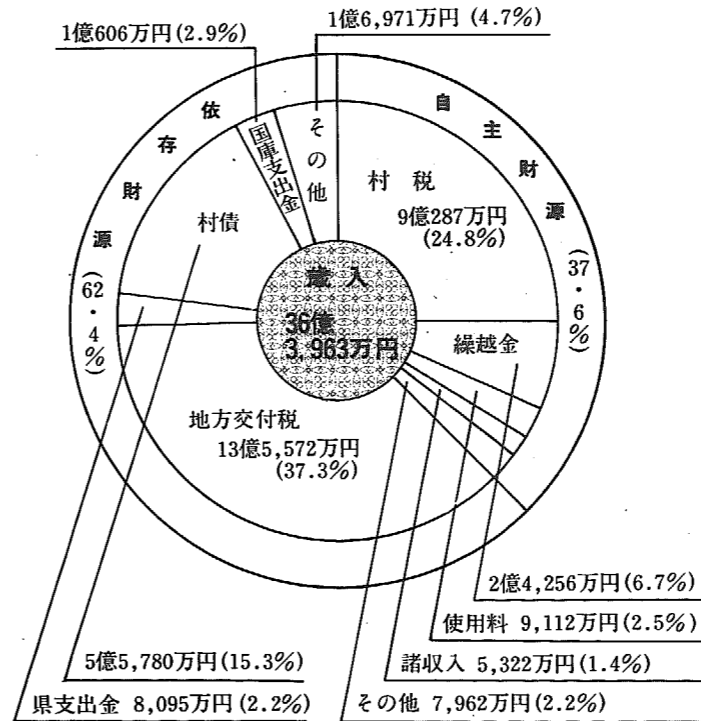
平成5年度 一般会計決算

村のお金がどのように使われ、村の財政がどのように運営されているかを村のみなさんから知っていただくため、平成5年度の一般会計決算をお知らせします。

〈表2〉 歳出 34億230万円



〈表1〉 歳入 36億3,963万円



■ 村の財産 (平成5年度末現在)

- ・土地……………186,923㎡
- ・建物……………25,740㎡
- ・出資による権利……………810万円
- ・基金……………18億8,744万円

■ 村の借入金残高 (平成5年度末現在)

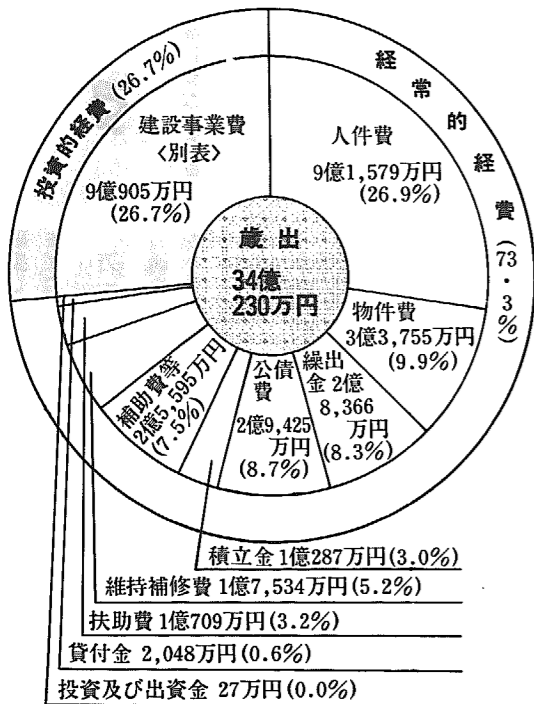
- ・一般会計……………25億8,825万円

村税の内訳

	村民1人当り
村民税	45,329円
固定資産税	40,711円
たばこ消費税	3,905円
軽自動車税	1,213円
鉱産税	365円
合計	91,523円

(前年度対比 0.9%減)

〈表3〉 性質別経費



〈別表〉 投資的経費

総合体育館建設費	5億8,223万円
道路新設改良事業	8,903万円
県営農地防災排水事業等負担金	6,368万円
中学校コンピューター教室増築事業	4,151万円
国道49号歩道整備事業	3,313万円
ふるさと農道緊急整備事業	2,036万円
沢海床固公園工事	1,999万円
消防施設整備	2,538万円
スクールバス購入	729万円
十二前地区水道施設整備	555万円
そのほか	2,090万円
合計	9億905万円

○村民一人当たり使ったお金
三四四、八八六円
(前年度対比五・四%増)

○村民一人当たり借入金残高
二六二、三六七円
(前年度対比二七・〇%増)

疾病の予防、生活環境の保全や公衆衛生の向上などで、平成七年度から建設の始まる一般廃棄物最終処分場の環境影響事前調査費のほか廃棄物処理を行う新潟地域広域清掃事務組合の負担金も大きく増えています。諸支出金においては各種基金の積立てなど財政の健全化に努力しています。

※ なお、特別会計の決算については次号でお知らせします。

まずと職員給与や議員など各種行政委員の報酬である人件費や公債費等の経常経費が七十三・三%総合体育館の建設や道路整備などの投資的経費が二十六・七%となっています。

投資的経費の内訳は〈別表〉のとおりです。

歳入(表1)見ますと、村税・繰越金などの自主財源は三七・六%、これに対して国庫支出金、地方交付税、村債(借金)などの依存財源は六二・四%となっています。

目的別歳出の状況は表2のとおりです。主なものは教育費では総合体育館建設事業、中学校コンピューター教室増築事業など、土木費では道路新設改良事業、国道49号歩道整備事業

下水道事業特別会計繰出金など。民生費では平成五年度から県より村へ委譲された老人保護措置事業が大幅に伸び、そのほかに家庭奉仕員派遣事業、日常生活用具給付事業、デイサービス事業、児童福祉など。総務費では村勢要覧の作成や衆議院選挙など。農林水産業費では水田営農活性化対策事業や農地防災事業、ふるさと農道緊急整備事業など。衛生費では健康づくりの推進、

総合体育館建設 国道49号歩道整備にも着手

十二月定例村議会で平成五年度決算が審査され認定されましたのでお知らせします。

一般会計は当初予算三十二億二千五百万円でスタートしました。その後、六回の補正を行い決算額は歳入三十六億三千九百六十二万七千円に対して歳出三十四億二千三百万円となり、差引二億三千七百三十二万六千円の黒字となりますが、農林水産業費の県営かんがい排水事業等の繰越事業の財源として十九万八千円を繰越すため、実質二億三千七百七十二万八千円の黒字

決算となりました。

前年度と比較すると、歳入は二億一千六百八十二万八千円(六・三%増)、歳出は二億二千二百六万六千円(七・〇%増)とそれぞれ増加しています。その理由としては総合体育館建設事業等の投資的経費の増加によるものです。

村の財源はますます増大する行政需要に対応するため、税収の確保はもちろんのこと、予算の効率的配分等限られた財源の有効活用にも努めています。

平成5年度決算 一億二千七百八十二万八千円の黒字